科目名	宗教史 I / 宗教の歴史(別)-1						学期	前期	
副題	世界の宗教史				授業方法	講義	担当者	奥山直司	
ナンバリング	M2-03	実務経験の有無	無	関連DP	4, 5	単位数	2	他	-

授業の目的と概要

世界の宗教潮流を概観し、基礎的な知識を得ることがこの授業の目的である。人類の歴史の中に現れた様々な宗教に触れることは、仏教・密教の位置づけを考える上でも有意義である。受講生が積極的に授業参加できるよう、映像資料の提示や発表などを予定している。

授業の到達目標

各宗教の歴史と特徴を大まかに把握すると共に、その社会的な機能や意義について論じることができる。

授業計画

1. イントロダクション
2. 原始・古代の宗教 1
3. 原始・古代の宗教 2
4. 原始・古代の宗教 3
5. ユダヤ教 1
6. ユダヤ教 2
7. キリスト教 1
8. キリスト教 2
9. キリスト教 3
10. イスラーム 1
11. イスラーム 2
12. ヒンドゥー教 1
13. ヒンドゥー教 2
14. 道教
15. まとめ

準備学習(予習・復習)・時間

シラバスと教員の指示に従って、各宗教について予習する(60分)。授業で取り上げた宗教について自ら調べ掘り下げて理解に努める(120分)。

テキスト

必要に応じて配布する。

参考書・参考資料等

M. エリアーデ『世界宗教史』I～III、筑摩書房。

学生に対する評価

授業への積極的な参加(60%)、期末レポート(40%)

ルーブリック(目標に準拠した評価)

- (C) 配布資料を正確に読解できる。
- (B) 各宗教の歴史を大まかに説明できる。
- (A) 各宗教の特徴を他の宗教との比較において説明できる。
- (S) 各宗教の社会的機能や意義について論じることができる。

課題に対するフィードバックの方法

質問や意見について毎回の授業内でフィードバックを行う。

その他

遅刻3回で1欠席と見なすので注意されたい。受講生の積極的参加が必要なアクティブ・ラーニングである。